

## IR University

## 第12回 「資本市場とIR シンポジウム」のご案内

(青山学院大学共催)

資本市場の評価を得る IR・SR と取締役会とは ～ 日本企業の成長に向けて ～

## ご挨拶

毎年、重要なテーマに注力しながら、問題提起をしております当シンポジウムですが、本年の開催にあたり、激変した企業環境および投資環境において、より洗練させた IR・SR 活動およびコーポレートガバナンス・コードの進化と深化を進めている日本企業ガバナンス体制のアピールがさらに重要になっていると考えます。そのことこそが、日々、存在感を低下させている日本企業に歯止めをかけるのではないのでしょうか。

今回は、投資家への具体的なアピール手法のみならず、企業内で企業の発展にいかに関与できるかを主眼に、専門家と実務者の皆様のお話をお聞きし、具体的にディスカッションを展開していきます。

今回も昨年同様、オンラインミーティング形式で開催します。皆様と参加しやすい雰囲気を作りながらの展開を目指したいと思います。本年は、日興アセットマネジメント㈱の代表取締役社長であるステファニー・ドゥルーズ氏にご登壇いただき、ESG の取り組みやダイバーシティ問題、日本企業に期待することなどを語っていただきます。また、昨年もお登壇いただいた ICGN(国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク)の理事の三井住友トラスト・アセットマネジメント㈱の川添誠司氏の講演をはじめ、TCFD の動きとその対応に、今回共催となります青山学院大学の伊藤晴祥先生にもご登壇いただきます。企業の実務の方に続いて、弊社のシニアコンサルタントによる最近の問題点の整理、最後に例年同様、有識者の方々に登壇していただき大討論会で締めくくる予定です。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ジェイ・ユーラス・アイアール(株) 代表取締役 岩田宜子

## 開催趣旨

以下のようなテーマのもと、議論を深めます。

- ・ 最近の IR・SR 活動の変化とアクティビスト対応
- ・ 混乱か？ ESG の評価
- ・ 資本市場から取締役会事務局へ期待すること
- など

## 開催概要

日時：2022年10月17日(月) 13時30分 - 18時00分

形式：WEB (Webex)

参加費用：弊社と現在お取引のある企業 無料  
弊社のフラッシュニュース受信企業 一人 1,000円(税別)  
その他企業 一人 2,500円(税別)

## お申込み方法

お申込み：右のボタンをクリックして、お申し込みください。  
折り返し、詳細のご案内を致します。

[参加申し込みボタン](#)

締め切り：2022年9月30日(金)まで

問合せ先：ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社  
担当：原山・岡野・川島

E-mail：[ir\\_university@j-eurusir.com](mailto:ir_university@j-eurusir.com) TEL：03-6273-4032(代)

## スケジュール(予定)

時間	講演内容	登壇者
13:30～13:35	はじめに	岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
13:35～14:30	対談 「日興アセットマネジメント(株)の ESG の取り組み、日本企業への期待」 (逐次通訳、QA セクションを含む)	ステファニー・ドゥルーズ 氏 日興アセットマネジメント(株) 高山 与志子 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
14:30～14:35	休憩	-
14:35～15:05	「サステナビリティ・ファイナンス」を巡る最新動向	伊藤 晴祥 先生 青山学院大学大学院国際マネジメント 研究科 准教授
15:05～15:35	講演 「海外投資家から日本のコーポレート・ガバナンスの改善に求められているもの」	川添 誠司 氏 三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)
15:35～16:05	座談会 「経営・取締役会と IR・SR 活動の連携について」	小林 良健 氏 尾池 純子 氏 (株)アドバンテスト 原山 真紀 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
16:05～16:35	講演 「取締役会事務局は企業価値向上にどのように貢献しているか」	大川 理香 氏 (株)荏原製作所
16:35～16:40	休憩	-
16:40～17:05	報告会 「最近の傾向と、企業の気になるところ」 ・社外取締役と投資家との対話に向けて ・資本市場の声を効果的に取締役会へ届けるために ・アクティビスト対応に見る取締役会の役割 ・IR 担当者がガバナンスについて語るための体制作り	鈴木 紀子 宮地 真紀子 原山 真紀 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)
17:05～17:55	大討論会 テーマ:「日本企業のグローバルでのプレゼンスを高めるために」 登壇者 三和 裕美子 先生(学者および社外取締役として) 小野塚 恵美 氏(投資家代表として) 中島 好美 先生(社外取締役として) 企業の担当者(実務者として)	総合ファシリテーター:岩田 宜子
17:55～18:00	最後に	伊藤 晴祥 先生 青山学院大学大学院国際マネジメント 研究科 准教授

<ご参考> 過去5回のIR University 「IRと資本市場シンポジウム」のテーマ

第11回:まだ間に合うCG 報告書—投資家の評価を得るには

第10回:新しいIROの役割とは—企業の成長にどう貢献するか

第9回:ESG イニシアティブ争いの中で日本企業が今なすべきこと—ガバナンス概念の拡張

第8回:ESG 今、何が起きているのか、IR担当者が出来ることは

第7回:建設的な「対話」の新たなスタンダードとは

**ステファニー・ドウルーズ氏****日興アセットマネジメント株式会社 代表取締役社長**

2014年8月、日興アセットマネジメント株式会社に入社し、機関投資家マーケティング・プロポジショングローバルヘッドに就任。2016年8月、プロダクト&マーケティング共同グローバルヘッド兼プロダクト&マーケティング共同本部長。2018年7月、コーポレート・サステナビリティ部長を兼務。2019年5月、常務執行役員に就任し、国内外の商品開発、国際営業・戦略、マーケティング、広報、営業支援、およびコーポレート・サステナビリティを統括する。2022年4月、代表取締役社長に就任。

日興アセット入社以前は、英ロンドンにてパークレイズ・ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントのキークライアントおよびファミリーオフィス事業のグローバルヘッドを務める。それ以前は、モルガン・スタンレーにて、マネージング・ディレクターとしてプライベート・ウェルス・マネジメント事業に約13年間従事。

オックスフォード大学卒。ハーバード大学大学院経営学研究科でMBA取得。

**川添 誠司 氏****三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 スチュワードシップ 推進部****シニア・スチュワードシップ・オフィサー****国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク(ICGN)理事**

グローバル株式ポートフォリオマネージャーとして、東京、ニューヨーク、ロンドン、ルクセンブルグを拠点とした豊富なグローバル経験を持つ。三井住友信託銀行において、ESG投資を立ち上げ、2018年10月のグループ再編で、現三井住友トラスト・アセットに移籍後、受託資産は7,500億米ドルを超えている。現在、公的資金、民間年金基金などのグローバルな機関投資家運用資産のスチュワードシップの観点での監督を担っている。さまざまなグローバルエンゲージメントプロジェクトに積極的に参画しており、CA100+の運営委員、PRI IPDD(森林破壊に関する投資家政策対話)の委員、30%クラブジャパン・インベスターグループのメンバーである。専門分野はビジネス倫理、株主の責任、株主の権利。元東京大学大学院の非常勤講師、現レディング大学ヘンリー・ビジネス・スクール客員研究員。

**株式会社アドバンテスト****小林 良健 氏**

1987年アドバンテスト入社。会計、財務を経て2001年NYSE上場を機に新設したIR室に従事。2010年から新規ビジネス開発部門でマーケティングを経験し、2022年4月よりIR部。

**株式会社アドバンテスト****尾池 純子 氏**

1995年アドバンテスト入社。20年以上、半導体試験装置の営業、マーケティングに従事。メモリ、SoCともに顧客のビジネスモデル、サプライチェーンの変化の中で幅広い顧客に当社の製品およびサービスの価値を届ける役割を経験。2020年からIRに従事。

**株式会社 荏原製作所****大川 理香 氏**

2000年、株式会社荏原製作所に入社。法務部門を経て、16年よりガバナンス推進部(現グループ経営戦略・経理財務統括部)にてコーポレート・ガバナンスに関する企画推進業務、取締役会事務局に従事。21年、ガバナンス推進機能と秘書機能を統合したガバナンス推進課が新設され、同課長に就任。取締役会の実効性向上に向けた取り組みを推進。

**三和 裕美子 先生****明治大学商学部 教授**

大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程単位取得退学後、明治大学商学部助手、同専任講師、同助教授、2005年より同教授、現在に至る。博士(商学)。ミシガン大学客員教授(2006年～2008年)。エーザイ株式会社社外取締役(2020年～)。全国市町村共済組合連合会資金運用委員(2020年～)。地方職員共済組合年金資金運用検討委員会委員(2021年～)。ピジョン株式会社社外取締役(2022年～)。

著書:『機関投資家の発展とコーポレート・ガバナンス』(日本評論社、1996年)、『アメリカ型企業ガバナンスの国際化』(共著、渋谷博史他編、東京大学出版会、2002年)、Corporate Governance in Japan(共著、シュプリングフェアラーク東京、2006年)。『東アジアとアセアン諸国のコーポレート・ガバナンス』(編著、税務経理協会、2016年)。『現代経営学の基本問題』(共著、中央経済社、2020年)

研究テーマ:機関投資家行動とコーポレート・ガバナンス、機関投資家の ESG 投資、エンゲージメント、大企業・機関投資家・金融仲介機関の社会的責任など。

**小野塚 恵美 氏**  
**エミネントグループ株式会社 代表取締役社長**

1998-2000年 JP モルガン (モルガン銀行) マーケットリスク管理業務、デリバティブ契約管理などミドルオフィス業務に従事。

2000-2020年 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 運用会社の全ての部門(営業、運用、管理)を経験し、2011年から伝統資産のアジアパシフィック運用部門 COO、2016年~2020年までスチュワードシップ責任推進部長。ESG リサーチ、投資先との対話は年間 200 社以上。在籍中に業界団体「ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ (JSI)」を立ち上げ、金融庁、経団連、日本取引所グループと共に、日本の市場としての魅力度向上に邁進。同団体発起人、初代運営委員長。

2020-2022年 マネックスグループ カタリスト投資顧問 取締役副社長 COO 経営全般。マーケティング管掌としてスタートアップから純資産総額約 200 億円まで、デジタルマーケティング戦略を通じてリード。ESG/スチュワードシップ責任推進として議決権行使等に関与。マネックスグループ ESG/サステナビリティ推進タスクフォースリーダーを兼務。

2022年- 現在 エミネントグループ 代表取締役社長 CEO これまでの経験をすべて投入し、サステナブルファイナンスをキーワードに機関投資家、企業を支援。金融庁サステナブルファイナンス有識者会議委員。経産省非財務情報の開示指針研究会委員。(社)科学と金融による未来創造イニシアティブの代表理事。ファイナンス、アーツ、サイエンスの分野で様々な人との縁をつなぎサステナブルな社会の実現に向けて邁進中。

**中島 好美 先生**  
**事業構想大学院大学 教授**

早稲田大学 法学部卒。安田信託銀行(現みずほ信託銀行)、シティバンク、ソシエテジェネラル証券での要職を経て、2002年アメリカン・エクスプレス・インターナショナル,Inc に入社。トラベラーズチェック部門副社長、個人事業部門マーケティング担当副社長、2011年にシンガポールのカンントリー・マネージャー(社長)を歴任。ヤマハ株式会社社外取締役(2017年~2021年)。イオンフィナンシャルサービス株式会社社外取締役(2017年~)。日本貨物鉄道株式会社社外取締役(2018年~)。株式会社アルバック社外取締役(2018年~)。積水ハウス株式会社社外取締役(2021年~)。

研究テーマ:グローバル・マネージメント、マーケティング、セールス、人材育成、女性活躍推進のための産官学連携研究会、中国越境 EC プロジェクト研究 等

**伊藤 晴祥 先生**  
**青山学院大学大学院国際マネジメント研究科 准教授**

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科准教授。博士(国際経営学)及び博士(政策・メディア)。国際大学講師、准教授を経て、2019年4月より現職。専門分野は、コーポレートファイナンス、リスクマネジメント、リアルオプション。近年では、サステナブルファイナンスの研究にも従事しており、「企業価値創造をもたらすサステナブルバンキング」、全銀協金融調査研究会第1研究グループ報告書、「日本企業が実践するべきサステナブルファイナンスに関する一考察~経済理論から考えるサステナブルファイナンスの行方~」金融・資本市場リサーチ第6号等を始めとする多数の論文を執筆している。2020年から、ISO/TC207 環境マネジメント及び ISO/TC322 サステナブルファイナンスのエキスパートを務めている。

**岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役**

米系銀行勤務後 1992年よりIR業界でのキャリアを開始、1994年米国IR会社日本代表、その後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001年代表取締役に就任。東証上場会社表彰選定委員や経産省対内直接投資研究会委員を経験。日本IR学会理事。2016年IRとガバナンスの分野で博士号(経済)を取得。

**高山 与志子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター 取締役**  
**ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役**

1987年、メリルリンチ証券投資銀行部門 NY に入社。国内外での資金調達、M&A などのアドバイス。トムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズを経て、2001年、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)。2015年、ボードルーム・レビュー・ジャパン(株)代表取締役。現在「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー。